

わたしたちの町

人口(男) 4,769人 (女) 5,085人 計 9,854人 12月中の転入 27人 転出 23人 世帯数 2,290世帯 (12月末日 住民登録人口調)



あけましておめでとうございます

新しい年、八十年代に向かつて、さあ、出発。南小学校では、全校もちつき大会を行いました。五年生の実習田で実のつたもち米で、全校生が大奮闘。働いた汗の尊さをかみしめて、みんな楽しそう。きねを持つ力強い腕、危つかしい合の手。未来への希望にあふれる明るい歓声がひびいていました。(十五日、南小体育館で)

行政報告と一般質問から

老人世帯、生活保護世帯、福祉施設などに灯油の配布や燃料費を助成する考えはないか。

灯油は、まず節約に協力してほしい。老人家庭などについては、民生委員や福祉協議会を通し、各家庭の実情に応じた援助を考えていく。

転作強化にどう対応するのか

五十五年度の水田利用再編制り当では、目標面積百五十六ヘクタール。転作率は、十一・四%にもなる。

農家の理解で対応策を

「三年間固定」の当初の方針に合わせて、町の計画を進めてきており、対策に苦慮している。国に対しては、価格補償制度など、責任ある指導を強く要望していく。

水田再編の一部は、地力向上のためであることも考えている。労働力、生産費などをも考えた展示園を設置する。ぜひ、特産を形成

農業―今年が試練の年に 転作目標五十三%の増加

町議会十二月定例会で論議

「五十五年度の転作目標面積は、百五十六ヘクタール。今年度比五十二・九%の増加。」十二月十二日に開かれた定例町議会の冒頭で、町長は、本町への転作の仮配分割当てを報告。厳しい農業情勢を受けて、真剣な論議が行なわれました。

土木災害復旧では、現在も協議を重ね、加工や流通対策をたてていく。作目別には、大豆、養蚕きゅうりなどが考えられるが、長所短所を考慮して、所得向上に結びつけたい。町職員一名を農業指導センターに派遣し、指導体制も強化する。

大野台開発の見とおしはどうか?

農免道路の両側に、日本一の桜並木をつくろうと、関係者と話し合っている。私立学校教職員共済組合施設は、新年早々に担当者が調査に来町する。

農業問題を中心に活発な論議



災害復旧の見通しと受益者負担分(10%)を免除する考えはないか。

耕作に支障がないよう復旧に全力をあげている。条例で決まっている負担金は、議会で減免を議決しないかぎり負担することとなる。大災害の場合は、補助を出

可決された議案

- (議案第五十七号) 森吉町外四力町村病院組合規約の一部改正
(議案第五十八号) 米内沢病院移転にともなう規約改正(専決処分)
(議案第五十九号) 町職員の給与条列の一部改正
(議案第六十号) 合川町国民健康保険条例の一部改正
(議案第六十一号) 助産費の支給を六万円から八万円に引き上げました。
(議案第六十二号) 土地改良事業の完成による字の名称及び区域の変更
(議案第六十三号) 工事請負契約の締結

補正予算のなかみ

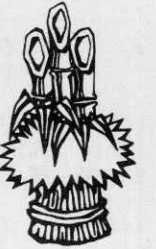
造坂川(上杉)災害復旧 金額三千五百三十万円
請負契約者(株)伊勢組 工事請負契約の変更
務沢川災害復旧工事契約の一部を変更しました。
(議案第六十五号) 六十九号
五十四年度補正予算
一般会計では、八千三百七十二万八千円を追加。予算総額は、二十五億八千三百六十三万七千円になりました。
追加された主な内容は次のとおりです。
(十万円未満四捨五入)
▽東地区簡易水道水源池等調査費二百四十万円
▽県単土地改良事業補助金 八百五十万円
▽災害復旧費(増沢地内声沢入口)四千二百八十八万円
その他、国民健康保険、合川診療所、簡易水道施設の各特別会計も追加補正しました。

町長日記から

厳しい年明けである。わが国戦後の発想と、価値観の転換を指向する一時代を経て、やっと握られた幕明けた。私が発見したのは、物の時代に甘やかされて育った青少年が、意外にも厳しさを求め、直感力で自分たちの世代的使命を握っていることだ。
広報新春座談会にも、新成人の作文にも、その他の会合での発言にみられる若者の代を展開しよう。(義)



今年も安全運転 明るい町をつくりましょう。
スピード半減・車間距離は大幅にドロハネに注意して、いたわり運転を守りましょう。



新しい農業を語る

新春座談会

司会 みなさんあけましておめでとうございませう。八十年代が、東北の農業にとって、たいへん厳しい幕明けになりました。「新しい農業」へどうしても取り組まなくてはならない。今日は稲作以外の農業を営んでいる皆さんでございまして、語り合ってもらいたいと思います。

後藤 ハウスを主体に、野菜を三百坪ほど作っています。稲作がこのような情勢になって、野菜づくりが、町の人たちにも理解された面もあり、私自身はうれしい気持ちもあります。

成田 陸稲がダメになって、それに変わる作物として、仲間です。アスパラをつくりました。田んぼの転作でも何かつくれないかと考えています。個人ではできませんが、グループだとしても、もありそうです。

町長 米ばかりでなく、どの作物でも、たいへん厳しい情勢ではあるわけですが、ただ、米は、国の指導に従ってきて余ったのだから、転作する場合には国の指導を強く要望したいと思うので、すこいので。堆肥、す。

司会 野菜の場合、特に流通の問題も大きいと思うので、改植も今年で終わり、これからは軌道にのります。



金田さん

市場は心配ない — 後藤 堆肥加工施設の建設を — 向井

向井 私のところでは、タバコ農家と協力して、畜舎にまいたモミがらを堆肥にしたものをタバコ畑にまいて、秋には稲わらをもらうわけです。

後藤 一トンのきゅうりを作ると、一トンの堆肥が必要とされています。私たちの町にも畜産農家と協力して、堆肥生産施設がほしいと思います。

町長 カントリーで出るモミがらや畜産廃棄物の量と、堆肥の必要量を計算して、堆肥生産施設の転作も考案しなければならぬ。転作のためには、畜産公害の問題もふえていきます。その面での対策にもなることを期待しています。



後藤さん

成田 私たちのアスパラも生産から販売まで農協の指導を受けています。司会 堆肥はどのようにして使いますか。

後藤 私は、大館市の業者から買ってきています。自分で作るより手間もかからず、安くつくります。

成田 稲わらを積み上げて自分で作ります。自分で作ったほうがいい物ができます。

転作強化の試練をのりこえ

町をつくらう



町長

杉測 クワイ栽培の例では、業者の指導だけを守って失敗したケースもあるようです。

金田 しいたけの場合は、

国立市向けに期待 — 成田 全力で養蚕の拡大を — 杉測

成田 昨年、国立市に行つて、貴重な体験をさせてもらいました。私たちが食べて余った野菜が、たいへん喜ばれるのです。畑は、何も植えないで残しているところも多いですが、本当にもったいないと思いました。何でもいから、まず生産することが大切なんです。すていた畑が、利用できると思うと、楽しみです。

金田 むこうの仕事仲間では、夏の間にハウスで五百万円ほどかせぐ。冬は、私たちといっしょに仕事をすることという人もいました。とにかく、収入に結びつけることに真剣にならないと、発展しないのです。

後藤 人よりがんばれば、それだけ収入になるということなんです。

金田 今は、先進地に研修に行つても、かんじんなところは、見せてくれません。技術は盗まないとはいけません。それだけに、他町に先がけで、「新しい農業」をつくりたいのです。

杉測 養蚕は、田んぼとは離れて、団地化させると、すばらしいものになると自信があります。現在、五百箱の稚蚕飼育の能力があり、増産できる需要の将来性もあります。一蚕期が二十日。そのうち本当に忙しいのは、三日ぐらい。五箱ずつ三回繰り返せば百二十万円は固定。無償苗木の配布制度もありますから、積極的に利用を呼びかけます。

座談会に参加された皆さん

- 後藤 隆(下杉) 稲作
- 成田 テル(東根田) 稲作
- 杉測 忠寿(増沢) 合川町農協 営農指導員
- 金田 憲一(西根田) 稲作
- 向井 龍洋(弥栄) 酪農
- 司会 河田利一郎

町長 畠山 義郎

鷹巣農業改良普及所 所長補佐(合川町担当)



成田さん

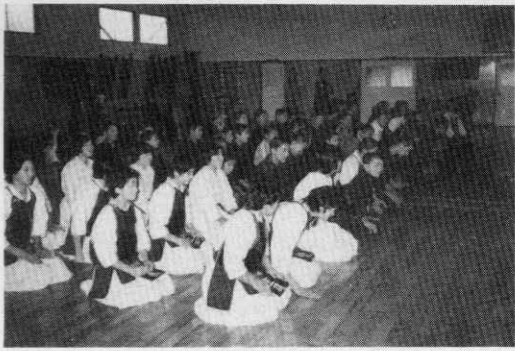
成田 アスパラは時期が限られて、年間で、何かを生産できるようにすれば、田んぼでも野菜がでると思います。

金田 ホタテを田んぼに置いて、転作にしたい。飼料として安くて、水田再作の技術は、ここ数年でたいへん進んでいます。質、ともに今までは比べたものになりません。ただ、飼料用の稲ワラが手に入



合川町農業総合指導センターで設置した転作展示圃(道城)は10a当り二百十キログラムの収穫。成果は着実に伸びてきているのだが、さらに厳しい対応がせまられている。

成田 私たちのアスパラは、四人で二〇アールをつくり、



女性剣士も大活躍 第3回町民剣道大会

合川町剣友会では、12月2日、合川中学校武道館で第3回町民剣道大会を開きました。大会には、女性剣士とあわせて100名余りの選手が参加。応援席からも、黄色い声援が飛びかいました。14組の親子血戦?では、13組で子供剣士が勝ち。「オヤジ剣士の目がだいふ細かった」と、笑顔の感想が聞かれました。一般の部では木村信郎さん(李岱)が優勝。合中剣道部は、昨年、各種大会で好成績をおさめ、今年も活躍が期待されています。



サークル コロンボで今年も映画会 歳末助け合いに協力

サークル「コロンボ」(代表木村晃さん=下杉)では12月8、9日、「歳末映画会」を開きました。歳末映画会は昨年に続いて2回目。収益金の一部で歳末助け合い運動に協力しました。コロンボは現在、会員が16名。「楽しみながら社会参加」をモットーに花段作りや映画会などを行っています。今年の映画『兎の眼』には500人余りの観客でいっぱい。子供からお年寄りまで、感動の涙をうかべる人も多かったようです。(写真=映画会を終えて笑顔の記念写真)



力餅で交流会 エコーハイツ・連合青年会

町連合青年会では、29日、エコーハイツで「モチつき交流会」を開きました。力自慢の青年会員が、エコーハイツを訪問。きねを振り上げてモチつきが始まる、あたりには若々しい熱気がたちこめます。エコーハイツの「盛年」も負けずに挑戦。昔とったきねづか、腰つきは青年以上です。つき上がった餅を食べながら懇談会。このモチつきは年末の恒例行事になっており話はずみはあつきました。

みんなと公民館の広場

婦人問題 研究集会

合川町婦人問題研究会の参加者が集まりました。は、九日、役場会議室と町公民館で開かれました。研ミと私たちをテーマに、究集会は十九年の長い歴史 映写会。消費者会議と呼びがあり、婦人の政治参加の かけているゴミ再利用運動 場として、今年も百六十名 への、認識を新たにしまし た。

地域活動だより 34

土濃塚会長は、わかつて いるけれども、ピンときて いない、それでいて大きな 問題が多い」と、意志の強 い婦人になろうと呼びかけ 助言者として参加した。各 機関からの代表のみなさん

【暮らしの提言と実行】
◎冠婚葬祭を合理化しよう
会費制結婚式を厳守し よう。
快気祝、内祝はやめよ う。
葬式の会食は、一定費 用におさえよう。
お祝いごとは、「酒 一升運動」を展開しよう。
小さな買い物にも、カ ゴ、ふろしき持参で。
チラシも合理的に配付 しよう。
畑の生ゴミは、土に還 元しよう。

【町政への要望】
◎移転した公立米内沢病 院の入口付近にバス停を 設置してほしい。
◎母子センターに助産婦 を常設してほしい。
◎訪問販売、特に善意の おし付けのような販売が 多いので指導してほしい。
◎国税の増大に歯止め をかける方法を強力に指 導してほしい。
◎小中学生の安全登校に ヘルメット着用など、対 策を考えてほしい。
【助言者から】
要望への答えなど)

【実行と反省を 繰り返して】
まとめとして
北教育事務所 石川三郎先生
話し合いの進め方、内 容を見て、全国的にも、 たいへん進んだ婦人の政 治参加だと思つう。
問題点をしぼり、話し 合いの結果を、実行に結び つけてほしい。
探る、広める、行う、 反省するを繰り返して、 さらに婦人の意識を高め てほしい。

みんなで参加
町民スキー大会
□ 1月13日(日)
□ 東根田町民スキー場
社会人球技大会はいよいよ 10日から始まります。

善意のご寄付 (敬称略)
【香典返しにかえて】
善意に感謝し、故人のご めいふくをお祈りします。
桜井仁郎 (故) 母 ノブ
桜庭西松 (故) 叔父 常吉
津幡忠治 道城
成田米治 李岱 (故) 妻 サト
村形定治 川井 (故) 二男 秀男
村形定治 川井 (故) 長男 幹夫
土濃塚実 芹沢 (故) 叔母 トミ
藤島仁二郎 駅前 (故) 父 留之助
奈良久美 増沢 (故) 母 サキ

慶弔だより 12月
おめでとございませう
福岡香苗 修 長女 上杉
米倉博明 竹見長女 三三
近藤恵子 栄悦長女 李岱
藤岡康策 栄一長男 羽立
杉湖のぞみ 馨長女 雪田
佐藤祐子 武夫長女 川井
豊村伸子 清 三女 美栄
工藤健二 栄一長男 上杉
工藤正寿 正則長男 上杉
土濃塚英朗 重朗長男 駅前
米倉裕次郎 芳孝二男 上杉
吉田真悠子 三穂長女 川井
●おくりやみ申し上げます
桜庭常吉 本人 川井
津幡サト 忠治妻 道城
桜井ノブ 和吉妻 下杉
村形幹夫 定治長男 川井
奈良サキ 久美 母 増沢
藤島留之助 本人 木戸石
成田クラ 栄助 妻 李岱
工藤力松 本人 上杉
加藤定之助 本人 八幡
藤田道雄 本人 八幡



集会は小分科会に分か れて全員が発言
も、「健康で人間としての誇 りを大切にするために、婦 人の活動に期待する」と、 激励のことが続きました。 参加者全員の発言の中か ら、次のような提言や要望

米内沢病院入口までの バス乗り入れを、他町と も協力して要望している。 母子センターの助産婦 は、なり手がなくて困っ ているのが実情だ。
◎ 医療費の節約は、県の 正しい医療の指導とあわ せて、個人的にも健全な 受診のあり方を指導して いく。老人医療費の有料 化は、当事者の負担が大 きく、町独自では考えて いない。
◎ 訪問販売に対しては、 賢く厳しい消費者であつ てほしい。善意販売は、 ニセモノが多いようで、 警察に連絡することも、 一つの方法だと思つう。
◎ 結婚式の合理化は、若 い人たちにまかせて、両 親がジャマをしなければ すぐにでも実現できる。
◎ 冠婚葬祭の合理化につ いて、部落内でも話し合 ってほしい。

訪問販売には 賢く厳しく
【町政への要望】
◎移転した公立米内沢病 院の入口付近にバス停を 設置してほしい。
◎母子センターに助産婦 を常設してほしい。
◎訪問販売、特に善意の おし付けのような販売が 多いので指導してほしい。
◎国税の増大に歯止め をかける方法を強力に指 導してほしい。
◎小中学生の安全登校に ヘルメット着用など、対 策を考えてほしい。
【助言者から】
要望への答えなど)



今年も百名近い参加者
第一講座は「これからの農業」
「いろいろを聞いて話し合 う精神で」と、今年も ろばた講座が 始まりました。 働き盛りの成 人男子百名近 くが受講生と して申し込み。 二十二日に開 かれた第一講 座には、六十 名余の受講生 やはり転作 中

が参加しました。 開講式に続いて「石川 理紀之助・その人と生涯」 を映画学習。厳しい農業 情勢に立ちむかう決意を 新にしました。
県立宮原大学校長、本 谷耕一氏が「これからの 農業」について講演。本 谷氏は「これからは、米 価は上がりにくい」と前 置きして、農家の暮らし を見直す必要があると訴 えました。
農家の収入を上げるに は、経費をかけないで

町の人異動
一月一日付()
内は前任
助役・土濃塚一郎 福祉課 長、エコーハイツ事務長 事務取扱を兼務
佐藤陽三 秋田県民生協会 (派遣) (福祉課長)
三浦長一郎 合川町農業総 合指導センター事務局長 (農林課)
成田敏一 税務課(農林課) 高橋宮雄 財政課(税務課) 伊藤和也 農林課(財政課)